

～耕作放棄地を再生して地元還元～

埼玉県春日部市

取組主体:NPO法人 まちづくり協議会・元気塾

取組開始時期:平成24年度

解消面積:0.7ha(平成27年8月時点)

導入作物:菜の花、金ゴマ、梅田うまみゴボウ

1. 取組のきっかけ・経緯

近年、生産者の高齢化や担い手の減少等により、耕作放棄地が増加し、農地の景観が損なわれつつある。

そこで、NPO法人まちづくり協議会・元気塾では、地元の耕作放棄地を地権者、農業者、地域住民と協働し、歴史と浪漫のある伝統食用作物や景観形成作物を栽培し、体験・レクリエーションの場として再生することとした。

2. 取組内容

取組主体では、耕作放棄地(70a)を活用した伝統作物「金ゴマ」と「梅田うまみゴボウ」及び菜の花を栽培している。

平成23年から開催している地元住民との交流イベント「菜の花まつり」において、つみとり体験、菜の花を食材にした弁当等を販売し好評を博した。

また、食育の一環として、児童が金ゴマ栽培(苗移植、収穫、金ゴマたたき)に参加し、児童が育てた金ゴマを食材にした学校給食による関係者との交流給食会を開催し、地元小学校と交流を図っている。

3. 今後の課題・予定など

耕作放棄地を継続して有効利用するため、連作が難しい「金ゴマ」と「梅田うまみゴボウ」の栽培に輪作を取り入れるとともに品質向上に取り組んでいく。

また、今後は「エゴマ」の作付導入に向け研究を実施中である。

春日部市の支援を受け、「金ゴマ」、「梅田うまみゴボウ」を活用した商品開発(ドレッシング、ポタージュを研究中)を行い、地域ブランドとして育てることで、農業者の栽培促進を図り、耕作放棄地の活用につなげていく。

4. 活用した補助事業

(県)農との共生 田園都市豊かなくらし満喫事業(補助内容:H24～H26年度、0.7ha)



再生前



再生後